

# 人材開発助成金（厚労省）を活用した 教育訓練（セミナー受講）の情報提供

※詳細内容の確認は「[厚生労働省人材開発支援助成金](#)」の  
サイトにて、ご確認ください。

JASPEC



# 一般財団法人JASPEC

Japan Assistive Products Evaluation Center

←リンク先

# 厚生労働省 人材開発支援助成金

旧称：キャリア形成促進助成金



## 概要

人材開発支援助成金は、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を、**計画に沿って従業員に職業訓練として実施する**事業主等を支援する制度です。

**訓練経費**や**訓練期間中の賃金の一部**等が助成されます。

## 【助成対象経費】

自社内で企画して行う教育訓練に関する費用

- ★部外講師の謝金(※実訓練時間 1 時間当たり 1 万 5 千円上限)、旅費
- ★施設・設備の借上げ費

教育訓練計画内で外部研修を活用する費用

- ★外部の教育訓練施設等に支払う受講料、教科書代等

訓練期間中の所定労働時間内の賃金

- ★業務時間範囲で、訓練に費やす時間に必要な人件費

## 【助成活用例 1】

①車いす安全整備士養成講座

②プラス講習

を組合わせた場合

## 【助成活用例 2】

①車いす安全整備士養成講座

③ほっとデスク年間定例セミナー

を組合わせた場合

# 【助成活用例 1】

①車いす安全整備士養成講座+②プラス講習＝16時間10分

①座学計2時間50分+実技計7時間20分＝10時間10分  
小休止60分を差し引いて9時間10分

②実技8時間  
小休止60分を差し引いて7時間

自己負担額計算 ※諸条件によって、助成金が増える場合があります。

①新規受講料(41,800円)+車椅子レンタル費(6,600円)＝48,400円

②プラス講習受講料11,000円

①+②＝**59,400円**

59,400円－助成金45%26,730円＝自己負担額**32,670円**

賃金助成 ※諸条件によって、助成金が増える場合があります。

受講自己負担額32,670円－賃金助成額(16時間10分×760円＝12,286円)

実質受講自己負担額＝**20,384円**

## 【助成活用例 2】

①車いす安全整備士養成講座＋③ほっとデスク年間定例セミナー  
＝63時間10分

①座学計2時間50分＋実技計7時間20分＝10時間10分  
小休止60分を差し引いて9時間10分

③年間全工程54時間

自己負担額計算 ※諸条件によって、助成金が増える場合があります。

①新規受講料(4,180円)＋車椅子レンタル費(6,600円)＝48,400円

③ほっとデスクセミナー全行程受講料**99,000円**

①＋③＝**147,400円**

147,400円－助成金45％66,330円＝自己負担額**81,070円** ※月額換算6,756円

貸金助成 ※諸条件によって、助成金が増える場合があります。

受講自己負担額－貸金助成額(63時間10分×760円＝**48,006円**)

実質受講自己負担額＝**33,064円** ※月額換算2,755円

# 【助成制度活用フロー】

- ① 「職業能力開発推進者」を選任
- ② 「事業内職業能力開発計画」を作成
- ③ 「訓練計画」を作成し、提出
- ④ 訓練の実施
- ⑤ 支給申請

各都道府県**労働局**にて事業内**職業能力開発計画の作成**の相談を受け付けています。  
また、厚生労働省のホームページに各種情報（作成の手引き、Q&A、企業の取組  
実例など）を掲載しています。作成に当たってご覧ください。

[「事業内職業能力開発計画」作成の手引き](#)←詳しくはコチラ